第２学年　社会科学習指導案

日　時　平成２５年１１月２１日（木）
学　級　２年Ａ組（男子15名 女子10名 計25名）
授業者　教諭　坂井　ふき子

１　単元名　　第５章　近代の幕開け　（教育出版　「中学社会　歴史　未来をひらく」）

２　単元について

（１）教材観

学習指導要領の内容（５）「近代の日本と世界」の学習の導入にあたるのが本単元である。本単元は、学習指導要領〔歴史的分野〕の内容（１）「歴史のとらえ方」ウ、（４）「近世の日本」エ、（５）「近代の日本」ア、イ（一部）に基づいて構成され、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したこと、日本が複雑な国際情勢の中で開国したことを理解させることをねらいとする。

教科書の構成と単元配列	学習指導要領との関連
１　近代世界の確立とアジア	（５）ア　欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。
２　開国と幕府政治の終わり	（４）エ　社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。 （５）イ　開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。
◇学習のまとめと表現 時代の変化に注目しよう！	（１）ウ　学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。

本単元では、内容の取扱い（１）ウの中で、「各時代の学習の初めにその特色の究明に向けた課題意識を育成したうえで、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえさせるようにすること」としていることをふまえ、鎖国政策をとってきた江戸幕府が方針を転換し開国に踏み切ったことをきっかけに江戸幕府が滅亡した背景や原因を究明するという課題を単元の学習課題として設定したい。

（２）生徒観

生徒たちは、第４章の学習のまとめとして、江戸時代を中心に「時代を大観する学習」を行っている。江戸時代はどんな時代であるか、その特色についてまとめた。単元の学習の初めに、時代の特色を追究するための課題を設定しなかったため、「どんな時代か」という視点ではまとめにくいという生徒もいた。

そこで、本単元では、「なぜ、江戸幕府が滅亡したのか」という単元の学習課題を追究するために、欧米では、市民革命や産業革命を通して、近代国家を成立させたこと、日本では、開国をきっかけに、江戸幕府が滅亡したことについて、資料や年表からとらえさせ、それぞれの背景や原因を調べるという学習を位置づけていく。

単元の終末では、欧米や日本の社会の変化の背景や原因をもとに、幕末から近代へと時代が転換したこの時期の特色についてまとめさせていく。

（３）指導観

第一次と第二次では、欧米諸国や日本で見られた社会の変化について、資料を中心に背景や原因を調べさせていく。その際には、同じような変化が日本ではいつどのように起こったのかについても、教科書の資料や本文中のキーワードをもとに確認し、欧米諸国と日本の歴史のつながりについて気づかせたい。

第三次では、多面的・多角的に考察させるため、小グループ（３～４人）での学習を取り入れる。幕末から近代へと時代が変わったという事象を「欧米諸国の近代化（市民革命・産業革命・アジアの植民地化）」「天保の改革前後の政治のようす（外国船接近・一揆や打ちこわし増加による社会不安）」「開国による民衆生活への影響」「尊皇攘夷から討幕運動への展開」という４つの視点からグループごとに分担して、多面的に考察させる。

グループの発表を聞き、さらに自分の考えも加えながら、多角的に幕末から近代へと時代が転換したこの時期の特色を考察させていく。

３　単元の目標

（１）幕府政治の行き詰まりや欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出に対する関心を高め、意欲的に追求して、幕末から近代へと時代が変化した背景についてとらえる。
（２）幕末の社会の変動や欧米諸国の接近、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現する。
（３）幕末の社会の変動や欧米諸国の接近、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどに関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりする。
（４）幕府政治が次第に行き詰まりをみせたことや欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解すし、その知識を身に付ける。

４　単元の評価規準

ア　社会的事象への関心・意欲・態度	イ　社会的な思考・判断・表現	ウ　資料活用の技能	エ　社会的事象についての知識・理解
①幕府政治の行き詰まりに対する関心を高め、意欲的に追求して、幕末から近代へと時代が変化した背景についてとらえようとしている。 ②欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出に対する関心を高め、意欲的に追求して、幕末から近代へと時代が変化した背景についてとらえようとしている。	①幕末の社会の変動について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ②欧米諸国の接近、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	①幕末の社会の変動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめている。 ②欧米諸国の接近、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きに関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめている。	①幕府政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解し、その知識を身に付けている。 ②欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解し、その知識を身に付けている。

５　単元の指導と評価の計画（全１０時間　本時１０／１０時間）

次	○ねらい　・学習活動	評価規準	評価方法
第一次	（１）議会政治のはじまり ○イギリスで始まった議会政治の内容についてとらえる。 ・イギリスで議会政治が始まった背景について調べ、革命がその後の社会に及ぼした影響について調べる。	アー②	観察 発言 ノート
	（２）アメリカの独立革命とフランス革命 ○アメリカとフランスの人々が、革命を通して自由や平等を獲得していった過程について理解する。 ・アメリカの独立革命やフランス革命の内容について調べ、人権宣言の内容が近代民主政治に与えた影響を考察する。	イー② ウー②	観察 発言 ノート
	（３）産業革命と資本主義社会の成立 ○産業革命によって資本主義社会が成立したことや社会主義の実現や参政権の拡大といった社会に与えた影響について気づく。 ・産業革命による工業化の進展と社会の変化について調べ、社会に与えた影響をまとめる。 ・欧米諸国が軍事力と経済力を背景に力を強めていったことをまとめる。	イー② ウー②	観察 発言 ノート
	（４）アジアの植民地化と抵抗 ○近代化を果たしたイギリスが工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジア進出を果たし、植民地化を進めたことについて理解する。 ・イギリスが工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジア進出を図った過程を調べ、アジア諸国の植民地化の背景をまとめる。	エー②	観察 発言 ノート

第二次	（５）外国船の接近と天保の改革 ○ 外国船の接近や一揆に対する幕府の対応についてとらえ、内外の危機に対し、幕府政治が行きづまったことについて気づく。 ・日本への外国船の接近状況や天保の改革の内容について調べ、まとめる。	アー①	観察 発言 ノート
	（６）ペリーの来航と開国 ○ペリー来航により開国した背景を当時のアジア情勢と関連付けて理解する。 ・ペリー来航時の日本人の反応や条約の内容について調べ、まとめる。	アー① ウー①	観察 発言 ノート
	（７）攘夷から倒幕 ○開国をした幕府に対する批判が社会的､政治的に与えた影響について気づく。 ・欧米勢力との関わりから、開国の影響、攘夷から倒幕へとたどり着くまでの幕府や薩摩藩と長州藩の動きを中心に調べ、まとめる。	ウー①	観察 発言 ノート
	（８）世直しと江戸幕府の滅亡 ○徳川慶喜が大政奉還をしたねらいと倒幕勢力が新政府を作ったねらいについて気づく。 ・社会不安や世直しという社会情勢の中、江戸幕府が滅亡した要因と新政府樹立のねらいを調べ、まとめる。	イー① エー①	観察 発言 ノート
第三次	（９）近代への幕開けを迎えた幕末はどんな時代だったか① ○「近代への幕開け」の学習を振り返り、４つの視点から時代を大観し、特色を言葉や図で表現する。 ・学習した内容をもとに、「欧米諸国の近代化」「天保の改革前後の政治のようす」「開国と民衆生活への影響」「尊皇攘夷から討幕運動への展開」の４つの視点から、テーマを代表する重要な出来事をグループごとにまとめる。	アー①②	観察 作業内容
	(10) 近代への幕開けを迎えた幕末はどんな時代だったか②（本時） ○近代への幕開けを迎えた幕末の出来事の価値について考察し、幕末の特色をとらえる。 ・前時にまとめた出来事の中から、各自が選んだ三大出来事をグループ内で交流をする。 ・各グループの発表を大観し、近代への幕開けを迎えた幕末の出来事の価値について考察し、幕末がどんな時代だったか、自分の考えを書く。	イー①②	発言 ノート

６　本時の指導

（１）本時の目標と評価規準

観点	目　標	A 「十分満足できる」	B 「おおむね満足できる」	C 「具体的な対応・手だて」
思考判断表現	①近代への幕開けを迎えた幕末の出来事の価値について考察することができる。	三大出来事として選んだ根拠を他の出来事と関連付けて表現することができる。	三大出来事として選んだ根拠を表現することができる。	三つ選ぶことができない生徒には、最も重要な出来事を選び、根拠を考えさせる。
	②４つの視点から幕末の日本と世界を大観し、幕末の特色についてとらえることができる。	４つの視点を総合的に関連付けて、幕府が開国から滅亡に至るまでの動きを中心にまとめることができる。	「欧米諸国の近代化」と「開国」を関連付けて、幕府が開国に至るまでの動きを中心にまとめることができる。	各テーマの最も重要な出来事をてがかりに、幕末の特色について考えさせる。

※４つの視点～「欧米諸国の近代化」「天保の改革前後の政治のようす」「開国と民衆生活への影響」「尊皇攘夷から討幕運動への展開」

（２）本時の展開

段階	○学習活動・予想される生徒の反応	形態	◇指導上の留意点「資料」◆評価
課題把握 7	**1　学習課題の提示** ○本時の学習課題をつかむ。	一斉	◇近代の幕開けを迎える幕末のまとめとして、各グループごとに前時の学習内容を発表をもとに、時代の特色を考える時間であることを意識づける。
	課題　近代への幕開けを迎えた幕末とは、どんな時代だったか。		
	2　「幕末の世界と日本」の大観 ○幕末の世界と日本の出来事を振り返る。	一斉	◇各グループが選んだテーマ別の出来事について、絵や図を中心にまとめた画像を作成し、iPadを使って視覚的に提示し、大観させる。「出来事に関する資料」
関係考察 35	**3　テーマ別三大出来事の選択** ○前時にまとめた「幕末の世界と日本」のテーマ別重大な出来事から、最も重要な出来事を３つ選び、根拠を明らかにして各自の考えを発表する。 ①欧米諸国の近代化 ・イギリス革命　・アメリカ合衆国の成立 ・フランス革命　・イギリスの産業革命 ・資本主義社会と社会主義　・インドの大反乱 ・アヘン戦争　・東南アジアの植民地化 ②天保の改革前後の政治のようす ・外国船の接近　・北方探検 ・大塩平八郎の乱　・天保の改革 ③開国と民衆生活への影響 ・ペリー来航　・開国 ・日米修好通商条約　・国内経済の混乱 ・世直し「ええじゃないか」 ④尊皇攘夷から討幕運動への展開 ・安政の大獄　・尊皇攘夷運動 ・討幕運動　・大政奉還 ・王政復古の大号令 ※①～④が４つの視点	小グループ	◇以下の手順で小グループでの学習を行わせる。 ①個人作業で意見をまとめる。 前時にまとめた重大な出来事をもとに、重要な出来事を３つ選ばせる。 ↓ なぜ、重要だと思ったのか、その根拠をまとめさせる。 ②グループ内で意見を交流する。 司会役の生徒に、各自が選んだ出来事を集計させ、とりあげるものを確定させる。各自が選んだ根拠を比較させるために、選んだ人が少ない出来事から発表させていく。 ③テーマ別の三大出来事を選択する。 グループとしての三大出来事を選択し、その根拠をまとめる。 ◆近代への幕開けを迎えた幕末の出来事の価値について考察することができたか。（発言、ノート）
	4　テーマ別三大出来事の発表 ○小グループで意見交換してまとめた三大出来事を根拠を明らかにして全体に発表する。	全体	◇５の学習活動の手がかりにさせるため、次の手立てをとる。 ①テーマ別の三大出来事を短冊に書き、掲示する。（３の③の活動で書かせる） ②根拠についてメモをとらせる。
	5　時代の特色の考察 ○３の①～④のテーマ別三大出来事を大観して、「近代の幕開けとなった幕末はどんな時代であったか」、自分の言葉で表現し発表する。	個人 ↓ 全体	◇「欧米諸国は○○。幕府は○○した時代である」というフォーマットを与える。 ◆４つの視点から幕末の日本と世界を大観し、幕末の特色についてとらえることができたか。（ノート）
	欧米諸国は近代国家として力をつけ、アジアへ進出した。幕府はその欧米諸国との争いをさけ、鎖国をやめて開国を決断した時代である。		
終末 8	**6　学習のまとめ** ○発表された「幕末の時代の特色」をまとめ、近世の動きに関心をもつ。	一斉	◇小学校で学習した既習事項（明治維新、文明開化）について確認し、「近代の日本」についての課題意識につなげる。